2024年度 札幌市立大学大学院 連携プロジェクト演習 公開成果発表会 プログラム

日時：2024年11月9日（土）14：50～16：40
場所：札幌市立大学桑園キャンパス大学院棟４階　中講義室（D401）

タイムテーブル：

14：50　開会　　挨拶：西川教授
15：00　第一部　発表　進行：菊地教授
16：00　講評　　齊藤デザイン研究科長、貝谷看護学研究科長
16：10　第一部終了
16：15　第二部　2024連携プロジェクト演習の振り返り　進行：御手洗准教授
　　連携演習からの発見　今後の可能性　課題　について
16：40　閉会　　挨拶 ：菊地教授

発表番号	予定時刻	テーマ／発表概要		メンバー
1	15:00 ～ 15:30	【テーマ】	**認知症がもっと身近になるゲームの開発プロジェクト**	学生 桝田　聡志　デザイン研究科 齋藤　美沙　デザイン研究科 高田　舞　　看護学研究科 指導教員 吉田　彩乃　デザイン研究科 檜山　明子　看護学研究科
		【発表概要】	2025年には65歳以上人口の5人に1人は認知症になると言われている．認知症を「地域で助け合いながら共に生活していく人」と感じるきっかけ作りのため「認知症がもっと身近に考えられるゲームの開発プロジェクト」を立ち上げた．フィールドワークを通じてゲーム開発の専門家と地域で認知症ケアに携わる人から助言を受け，「お困りごと推察お助けカードゲーム」「物忘れタスク体験スゴロク」「ワード組み立てゲーム」の3種類のゲーム開発を行った．このゲームはインクルーシブなコミュニケーションツールとしての機能があり，認知症の生活を体験しゲームを遊ぶことで，困りごとに「気づく力」を養い，認知症の介護者の感情に触れ，楽しみながら文章を考えることで自然に認知症への関心を生み学ぶきっかけとなることを狙いとしている． 一般市民に実際にゲームを体験してもらい，アンケート調査を行った． ゲームのブラッシュアップを行った結果，今後の認知症啓蒙活動や教育の場での活用を検討する．
2	15:30 ～ 16:00	【テーマ】	**札幌市立幼稚園における園児の温熱環境と対策**	学生 米本晋太郎　デザイン研究科 馬場　彩音　看護学研究科 指導教員 西川　忠　　デザイン研究科 松野千代美　看護学研究科
		【発表概要】	近年、全国的に夏季の気温上昇が顕著であるが、これまであまり問題視されていなかった札幌市においても猛暑による熱中症対策が求められるようになっている。特に幼児は、その身体的特徴から熱中症のリスクが成人よりも高いことが指摘されている。 そこで、本プロジェクトでは、市立幼稚園の温熱環境の実態調査を実施し、看護とデザインの観点から熱中症のリスク低減につながる調査を行った。本調査から得られた知見を基に、全ての幼稚園が、教諭個人の判断に依存するのではなく、良好な室内気候となるような対策を講じ、今後の教育現場における温熱環境の改善につながることを目指す。	